



# 広島がん高精度放射線治療センター（HIPRAC） オープンカンファレンス（肺がん）

2022年6月13日（月）19時00分～ Web開催

## 【開催経緯】

センターでは、開設以前からこれまで、各病院より選出された委員及びオブザーバーとセンターの医師で、適応疾患や治療プロトコールについて検討する「臓器別検討会議」を定期的  
に開催してまいりました。センターに紹介していただく患者さんの状況が安定してきたこと  
から、より多くの医師や医療従事者の皆様へ、HIPRACのことや各臓器のがん治療における  
最新情報（手術・放射線治療・薬物療法等）を提供する場を作るべく、オープンカンファレ  
ンスを開催する運びとなりました。今回は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、  
Webで開催いたしました。

左から  
2番目：  
服部先生  
左から  
3番目：  
見前先生  
1番左：  
永田先生



1番右：  
岡田先生  
右から  
3番目：  
藤高先生  
右から  
2番目：  
権丈先生

当日は、永田センター長からHIPRACの現状を報告後、岡田・服部両座長の進行により、当セン  
ターの権丈副センター長から「HIPRACにおける肺がんに対する放射線治療」と題して講演を行い、  
次に、広島大学大学院医系科学研究科 分子内科学 藤高講師から「肺がん治療における最近の動向  
（内科）」と題して講演を、続いて、広島大学病院 呼吸器外科 見前診療講師から「肺がん治療に  
おける最近の動向（外科）」と題して講演を行っていただきました。

最後に、がん診療連携拠点病院や診療所等から参加いただいた委員及びオブザーバーによる意見  
交換を行いました。

参加者は72名で、盛会裏に終了することができました。当日の様子をご紹介します。

## 《HIPRACの現状について》

19時00分～19時15分

◆報告 広島がん高精度放射線治療センター 永田 靖 センター長

## 講演1 《HIPRACで行っている肺がんに対する放射線治療》

19時15分～19時30分

◆講師 広島がん高精度放射線治療センター 権丈 雅浩 副センター長



以下の内容について講演いたしました。

- HIPRACで行う高精度放射線治療として意義の高い疾患：肺がん
  - ①腫瘍最大径5cm以下で転移のない非小細胞肺がん（T1-2aN0M0）
  - ②組織型は未確定だが臨床的に早期の原発性肺がん（T1-2aN0M0）と診断される場合
  - ③転移性肺がん で3個以内で最大径3cmまで、原発巣が制御され他に転移のない場合
- 2015年10月から2022年3月までのHIPRAC治療患者数と治療手技
  - ・新規放射線治療開始患者4237例のうち、肺（転移を含む）の治療は264例（6.3%）
  - ⇒原発性肺がん：220例、移転性肺腫瘍：44例
  - ⇒SBRT：145例、IMRT：28例、3DSRT：47例
- 治療成績（2019年までの70例）
  - ⇒2年全生存割合：86.5%、無増悪生存割合：77.3%、局所制御率：100%

診断と治療方針の決定、HIPRACへのご紹介、経過観察と其後の治療への対応をいただいている  
諸先生方にお礼を申し上げます。これまでのところ良好な治療成績が得られています。  
今後ともHIPRACにご支援とご指導を賜りますようお願いいたします。

## 講演2《肺がん治療における最近の動向(内科)》 19時30分～19時50分

◆講師 広島大学大学院医系科学研究科 分子内科学 藤高 一慶 講師

以下の内容についてご講演いただきました。

- 日本における肺がんの疫学（全がん死37.6万人中、肺がん死7.5万人：第1位）
- 非小細胞肺がん・小細胞肺がんの治療成績の変化
- がんの治療方法（外科治療・放射線治療・化学療法・分子標的治療薬・免疫療法）
- 非小細胞肺がん・小細胞肺がんの臨床病期別治療法
- 肺がん治療薬の分類（殺細胞性抗がん剤・血管新生阻害薬・分子標的治療薬・免疫治療薬：ICI）
- 致死的免疫関連有害事象の特徴、免疫関連有害事象と抗腫瘍効果の関係
- ICIの特徴と今後の課題
- がん免疫療法における目標
- 肺癌治療の現状と課題



## 講演3《肺がん治療における最近の動向(外科)》 19時50分～20時10分

◆講師 広島大学病院 呼吸器外科 見前 隆洋 診療講師

以下の内容についてご講演いただきました。

- 手術関連の標準治療
  - ・手術可能な非小細胞がん（肺葉切除+リンパ節郭清）
  - ・肺葉切除以外の選択肢：縮小手術（区域切除と楔状切除）
  - ・手術のアプローチ（開胸・胸腔鏡補助下・完全胸腔鏡下・ロボット支援下）
- 現在進行中の臨床試験
  - ・手術 ・ 周術期（術前導入療法、術後補助療法）
- 縮小手術に関する臨床試験
  - ・ JCOG0802 ・ JCOG2109
  - ・ 手術関連の治療開発（薬物治療や放射線治療との組み合わせ、腫瘍および患者背景因子の考慮）



藤高・見前先生には、最新の肺がん治療の情報をご提供いただき、放射線治療医や放射線治療に従事するスタッフにとって大変勉強になる講演となりました。呼吸器内科・呼吸器外科と放射線治療科が引き続き連携強化を図り、患者さんにとって最善の治療ができる体制を構築していきたいと思っております。

## 《各施設からの現状報告》

20時10分～20時30分

広島がん高精度放射線治療センター運営協議会 臓器別検討会議の委員・オブザーバーより、各施設の現状等についてご報告いただき、センターとの連携について意見交換を行いました。

いつも患者さんを紹介いただいております先生方からの貴重なご意見を参考に、今後も安全で質の高い治療を提供できるように精進して参ります。

### ◎この度、参加いただいた委員及びオブザーバーの所属医療機関一覧

- ◆呼吸器内科・外科：広島大学病院、県立広島病院、広島赤十字・原爆病院、広島市民病院、安佐市民病院、JR広島病院、呉医療センター、東広島医療センター、JA尾道総合病院、JA広島総合病院、市立三次中央病院、マツダ病院、吉島病院
- ◆放射線治療科：広島大学病院、県立広島病院、広島赤十字・原爆病院  
広島がん高精度放射線治療センター

がん治療についての最新情報を提供する場として、このようなオープンカンファレンスを引き続き開催いたします。今後も、**各種がんのオープンカンファレンス**の開催を予定しております。開催が決定次第、ご案内を当センターHPに掲載しますので、皆様からのお申込みをお待ちしております。



### 【問い合わせ先】

〒732-0057 広島県広島市東区二葉の里三丁目2番2号

(TEL) 082-263-1330 (FAX) 082-260-1331

(MAIL) office@hiprac.jp (HP) http://hiprac.jp/

がん医療を  
より高度に  
より優しく



# HIPRAC

Hiroshima High-Precision Radiotherapy Cancer Center  
広島がん高精度放射線治療センター【ハイプラック】